令和２年度刈谷市学校給食アレルギー対応給食事業実施委員会議事録

開催日時　令和３年１月２６日（火）午後３時００分～午後３時４０分

開催場所　刈谷市役所　大会議室

出席者

委　員　富士松中学校長、住吉小学校長、富士松南小学校アレルギー担当、

刈谷幼児園長、住吉小学校ＰＴＡ代表、刈谷医師会代表、刈谷市薬剤師会代表、刈谷アレルギー児の会代表、富士松中学校養護教諭、教育部長、学校教育課指導主事

　オブザーバー　教育長

　事務局　教育総務課長、学校給食センター所長、主事、栄養教諭

欠席者　富士松中学校ＰＴＡ代表

1. 教育長あいさつ
2. 議題
3. 令和２年度学校給食アレルギー対応の流れについて（資料1-1～7）

アレルギー対応の流れについて（資料1-1）

10月上旬にアレルゲンに関する調査を、学校を通じて保護者に依頼する（資料1-2）。

　　　　　11月中旬に書類を保護者から回収し、アレルギー対応を希望する保護者に「学校生活管理指導表」の作成を依頼する（資料1-3）。

　　　　　同表を基に各学校で面談を実施し、教育委員会に申請し、３月下旬に対応を決定する。

毎月の対応として、

　　　　　　翌月分の鶏卵アレルギー対応食予定献立表（資料1-4）

献立材料一覧表（資料1-5）

加工食品アレルゲン一覧表（資料1-6）

などをセンターから送付する。

鶏卵代替実施方法は、センターで調理し、専用の器（校名、氏名入）に入れ、搬送し、職員室で、児童に代替食を渡し、職員が鶏卵アレルギー対応食受渡し確認表（資料1-7）で確認する。

　　　　　児童は、自席に戻り、代替食を自分の食器に入れ、喫食する。

　　　【質疑】

　　　Ｑ．アレルギー給食対応申請書類の様式は刈谷市独自のものか。（刈谷医師会代表）

　　　Ａ．国や県の様式に準じて刈谷市で作成している。国や県の様式が変われば、同様に変更を行う。（給食センター所長）

1. 令和２年度学校給食アレルギー対応について（資料2-1,2-2）

資料2-1の１．は、「過去５年間の学校給食アレルギー対応状況」。各年度５月現在の人数の記載で、全体的に増加の傾向を示す。

２．は、令和２年度の鶏卵除去及び代替食の実施予定。除去食９食、代替食９食の計１８食を提供する。

令和２年度の食物アレルギーを持つ児童生徒について（資料2-2）、アレルギー児童生徒の在籍人数は、中学校４，１０１人中４１８人、小学校８，５８３人中８１４人で、昨年より９１人増えている。このうち、アナフィラキシー症状がある児童生徒が、中学校で１７人、小学校で６２人の計７９人で7人の増、エピペンを携帯しているのが中学校で１３人、小学校で５９人の計７２人で１２人増となっている。

　弁当の一部対応、全部対応というのは、鶏卵、飲用牛乳他のアレルギーが原因で、給食を取ることができない児童生徒が、給食の代わりに弁当を持参すること。

この後の項目は、アレルゲンごとに、そのアレルギーを持つ児童生徒の人数を記載しており、アレルゲンに関する調査について、集計をしたものです。上段のアレルギー物質は、「食品表示基準」で法令上表示された「特定原材料」７品目と「特定原材料に準ずるもの」２１品目の計２８品目について掲載した。２８品目以外でのアレルギーは昨年同様メロン、スイカといったうり科の果物が多い。

【質疑】

　　　Ｑ．品目の分類はどのように分けているのか。類似、重複した項目が多いのではないか。（刈谷医師会代表）

Ａ．各学校への調査に自由記載欄があり、その品目名をそのまま使用しているため、類似したものがある。（富士松中学校養護教諭）

（３）令和３年度学校給食アレルギー対応について

今年度に引き続き鶏卵の代替、除去対応と飲用牛乳の無配膳、そばと落花生を給食で使用しないことを継続していく。

なお、食物アレルギーの啓発活動として平成２６年度から令和元年まで、講演会を実施していたが、聴講者の減少等を理由に、今年度は新たな啓発活動の検討を行った。

各学校でアレルギーの対応をしている担当者を集め、エピペンの実技指導や事例検討会等を検討していたが、コロナ禍で実施が困難な状況が続いている。引き続き効果的な啓発活動の検討を行っていく。

【質疑】

　　　Ｑ．書類提出の際、アナフィラキシー症状の種別を確認する必要があるのではないか。（刈谷医師会代表）

Ａ．各学校において詳細な事項を確認する面談を行うため、そちらで確認をしている。（富士松中学校養護教諭）

Ｑ．書類提出の際、アレルギーの有無は確認しているが、症状については確認していないのか。（刈谷医師会代表）

Ａ．各学校において詳細な事項を確認する面談を行うため、そちらで確認をしている。（富士松中学校養護教諭）

Ｑ．飲用牛乳は除去のみの対応であるが、今後代替の予定はあるのか。（アレルギー児の会代表）

Ａ．現状では乳の代替給食を提供する予定はない。（給食センター所長）

同じ日に乳を使用する献立を複数提供することを避け、乳のアレルギーをもつ児童生徒ができるだけ多く食べられるように努めている。（栄養教諭）

（４）その他

献立表の変更について。アレルギー対応給食予定献立表は、通常の献立表を基に作成している。今年度まで、献立表の食品の分類は、主に体の組織を作る食品、主に体の調子を整える食品、主にエネルギーになる食品の３つに分類していたが、来年度からは、さらに細かく、タンパク質、無機質といった六群に分けたものに変更する予定です。その他については以上です。

【質疑】

　　　Ｑ．献立表の翻訳は可能か。学校で翻訳をするという対応は非常に困難である。（富士松中学校養護教諭）

Ａ．学校教育課にて対応可能である。（学校教育課指導主事）